

第2日（3月3日）

1 秋山博子 議員（質問方式 一問一答）

答弁を求める者 市長

1 暮らしの不安を少しでも取り除く行政支援の個別サポートファイルを

国では持続可能な社会保障制度への確立を目指して、全世代型社会保障改革がすすめられています。具体的には、医療保険では後期高齢者の窓口負担の見直し、不妊治療の保険適用、待機児童の解消や児童手当の見直し、男性の育児休業の取得促進などですが、例えば、後期高齢者の窓口負担については、複数の病院にかからざるを得ない人の中には受診を控えることが起きるのではないかと、それによって、健康状態の低下につながってしまうのではないかとといった懸念も指摘されています。市民と最前線で向き合い暮らしを支える地方自治体として、こうした不安を少しでも取り除くために、全世代に向けて何ができるのか、議論をすすめたく質問いたします。

いまだに収束が見通せないコロナパンデミックの中、あらゆる世代から様々な不安の声が聞かれます。また、これらの不安は、コロナ禍が原因というよりも、それまでも存在していたのに見えなかった社会の課題が浮き彫りにされたに過ぎないという指摘もあります。だとすれば、行政が集中的に、短期あるいは中長期的に取り組むべきターゲットははっきりしたと言えるのではないのでしょうか。

(1) DXによるプッシュ型の支援情報提供について

ア 市民の暮らしの不安を取り除くために自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）はどのように貢献できるのか、市の現状と今後の方針について伺う

イ 千葉市では2021年1月から市民が使える可能性のある行政サービスを個別にLINEで通知する「あなたが使える制度お知らせサービス（通称For You）」を始めた。新聞報道では「福祉を必要とする人ほど時間に余裕がないことが多く、制度にたどり着けない問題の改善が目的」と伝えている。抱えている課題が重症化する前に制度を利用していただき解決につなげていけるこうした個別のプッシュ型通知を導入する考えはないか伺う

(2) 行政支援の個別サポートファイルについて

ア 市では子どもの成長をサポートする個別の「あしすとファイル」を作成している。子どもの状態や相談履歴を記録できることから、何度も同じ説明をしなければならないことなど、保護者のストレスや不安を少しでも軽くすることに繋がっている。現在の活用状況と利用者の声、今後の展開の方針を伺う

イ コロナ禍は感染への不安だけでなく将来の生活への不安も大きく掻き立てた。この不安感は心身の健康を阻害するだけでなく、家族関係・人間関係の亀裂や孤立感、虐待やDVの増加など、社会全体に影響を及ぼしている。もともと社会はお互いに助け合って生きていくために租税を始め様々な制度が作られてきた。市民がそれぞれの世代、それぞれの環境で、これから先に考えられるリスクを想定し、しかし、その場合にはこうした制度を利用できる、ということが、事前に把握できればどうだろうか。少しでも不安が軽くなりゆとりが生まれる。そのことがま

た、他者を思う支え合う活力ある社会の構築にもつながっていく。そこで、「あしすとファイル」にならって、個別サポートファイルを全世代対象に展開できないか伺う

2 日本の水を汚染しているPFAS（有機フッ素化合物）への対応

PFAS（有機フッ素化合物）は半永久的に分解されず健康被害が懸念されている化学物質で、フォーエバー・ケミカルとされています。これ以後発言します、PFOS/PFOAはいずれも、PFAS類です。これらの化学物質は、これまでは焦げ付かないフライパンの製造過程や撥水スプレーなどに使われ、また、航空機火災などの泡消化剤に含まれており、昨年6月沖縄県では米軍のPFAS泡消火剤が住民45万人の飲料水を汚染したとニュースにもなりました。

海外では2018年頃から危険性が認識されはじめ、日本では同年2月、PFOSは全ての用途で使用が禁じられましたが、すでに市中に出回っている製品の使用は規制対象外とのことです。また、PFOAについては自主規制によりすでに製造されていないと見込まれるが、市中に一定量はあると考えられる、というのが国の見解のようです。水については、2020年4月に厚生労働省が飲料水（水道水）に1リットル当たり50ナノグラムの「目標値」を定め、また、環境省も河川と地下水の「指針値」を同年5月に導入し、その6月に「PFOS及びPFOAに関する対応の手引き」を出しています。市民の命を支える水の、PFAS汚染についてできる限りの情報提供と対応を求めて質問いたします。

(1) PFAS汚染の実態について

ア 市が実施した調査と調査結果、今後の対応について伺う

イ 2021年度の国の調査によると、静岡県内の、消防機関・自衛隊関連施設・石油コンビナート等・そのほかで、合計203.376kgのPFOSまたはその塩換算量が在庫されている。市内のそれぞれの機関や施設での在庫量はどうか伺う

(2) 情報提供と注意喚起について

ア 他自治体では調査項目や調査結果を公表しているが市ではどうか伺う

イ 他自治体では「有機フッ素化合物系のPFOS及びPFOAを含んだ泡消火剤を使用した消火器及び泡消化設備に使用されている泡消火薬剤については可能な限り早急に処分をお願いします」と呼びかけている。市ではどうか伺う

ウ 市民が暮らしの中で注意すべきことは何か、伺う